

いっしょ

sample



さく : さゆき

え : アキハル

いっしょ



sample

さく : さゆき

え : アキハル

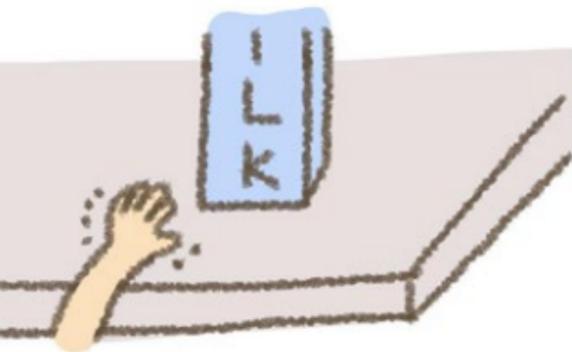
ママを なかせた



ママは このごろ げんきが ない。
おそとで いっしょに あそんでくれることも すくなくなった。



それから、ときどき ないているみたいだ。
このまえ いっぱい ないたのは、きっと ボクの せいなんだ。 2



ボクは、げんきがない ママに ぎゅうにゅうを 入れて
あげようと おもったんだ。だって、いつも ママが
「ぎゅうにゅうを のむと
つよくて げんきな こに なるよ」
って、いっていたから。

sample

でも、ぎゅうにゅうが おもたくて、
じょうずに コップに いれられなかった。
コップが おとを たてて ひっくりかえると、
ママは なにか ひとことだけ おおきなこえで いったあと、
ゆかに すわりこんで、ぬれた ぎゅうにゅうを ふいてくれた。



なかなかきれいに ならない ゆかに、
ママの なみだが おちた。



いたいときや 怖いときや
さみしいときや かなしいときに
ボクの めから かってに でてくるのと
おなじ なみだが
ポトポト おちた。

ボクは、ママの かおを のぞきこんで、
いつも ママが してくれるみたいに、ハンカチで なみだを ふいた。

sample

ママは やっと かおを あげて、くしゃくしゃの かおで わらって、
また ないて、ボクをギュツとしてくれた。



sample

ママのびょういん



sample

いつもは ママと ふたりだけで いく
びょういんに、 パパも いっしょに いった。

ママが “ もしもし ” の じゅんばんが くるのを まつ あいだ、
ボクは パパと さんぽした。

びょういんの にわには、
たくさんの きがうえられていて、
いろんな かたちをした はっぱが、
あるく たびに おとを たてた。



いちばん おおきな きの したに むかって、
きもちの いい おとを たのしみながら、
サクツサクツと おおまたで すすんでいると、
はっぱに まぎって まあるい みが おちていた。

いっしょに しゃがみこんだ パパが、「どんぐり」と いった。

おおきいの ふたつと ちいさいの ふたつ ひろうと、
ボクの ては いっぱいになった。
パパが 「いっしょだね」と わらった。



ママのふとん
sample



つぎのひから、ポクは まいにち おばあちゃんの いえに いくことになった。



ブロックあそびや ヒーローごっこをして、
パパが むかえに きてくれるのを まった。



ボクは、よる、ママと おふとんに
はいるのが いちばんの たのしみになった。

ママは このごろ ボクを あんまり だっこしてくれないけど、
ママと おふとんにはいると、だっこされてるみたいに フワフワした。

ママは いっぱい ボクと はなしてくれた。
えほんも よんでくれた。



sample

ボクはずっとママのこえをきいていたかったのに、
いつもきがつくとあさになっていて、
ママとはなればなれになったんだ。

ママがわらった



ママが げんきに なった。

てをつないで かいものに いった。

うたを うたいながら、

つないだ てを プンブンふった。



ママが わらった。

ポクも わらった。

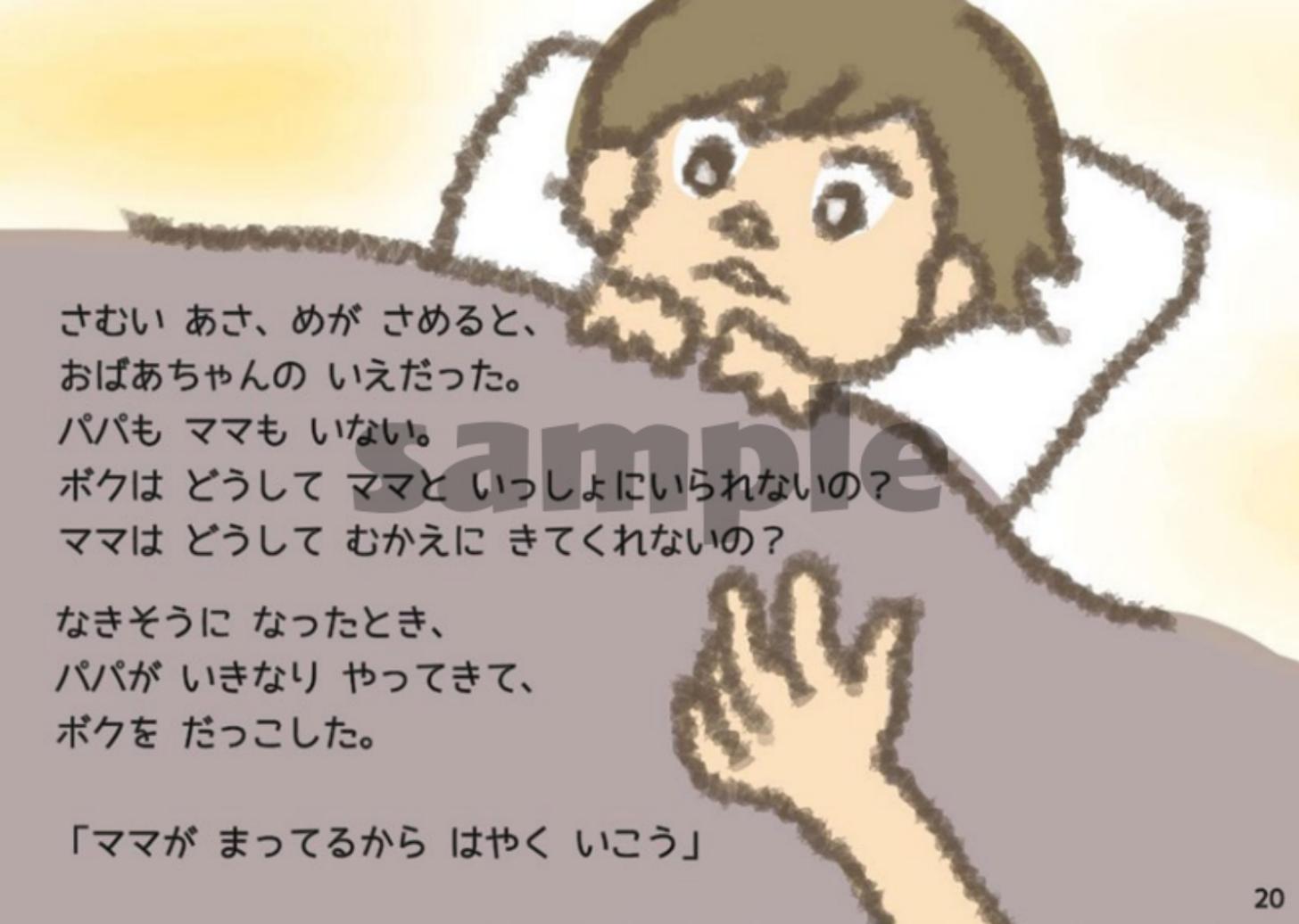
おふろも いっしょに はいった。
ボクは はじめて じぶんで あたまを あらった。
ママは「すごーい！」と おおきな めを あけて おどろいた。
ボクは ギュツと めを とじて おゆを かけた。
ママが わらった。
ボクも わらった。



sample

どんぐりひとつ





さむい あさ、めが さめると、
おばあちゃんの いえだった。
パパも ママも いない。
ボクは どうして ママと いっしょにいられないの？
ママは どうして むかえに きてくれないの？

なきそうに なったとき、
パパが いきなり やってきて、
ボクを だっこした。

「ママが まってるから はやく いこう」

ついたのは、いつも ママと いく びょういんだった。

sample

はじめて あがる かいたんを いくと、
まどから どんぐりの きが みえた。

すっかり まるはだかになつた どんぐりの きは、
うっすら ゆきを のせていた。

パパに てを ひかれ へやに はいると、
ママが ベッドに すわっていた。

なんだか ママの そばに
いっては いけないような きがした。



そしたら パパが、
「ママの ところに いていいよ」と、
せなかを おしてくれた。

ママの そばに いくと、ベッドの
よこにもうひとつ ベッドがあった。

「おいで」

ママが てを ひろげて まって くれる ところに、
ボクは ゆっくり すいこまれた。

そしたら ママは、ボクを ギュツとして、
「ごめんね、しんちゃん。さみしかったね」と なみだを ながした。

sample



sample

「しんちゃんの いもうと だよ。」

ママと いっしょに のぞいた ベビーベッドで、
すやすやと ねむる あかちゃんが ピクツと あいさつした。
しっかり にぎりしめた ちっちゃな てには、
どんぐりが ひとつ はいってる みたいだった。





おわり

いしだえほん No.0098

いっしょ

2019年1月18日 初版発行

さく さゆき
え アキハル

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Sayuki / Akiharu / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。
また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。
落丁・乱丁はお取り替えいたしませんので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-97-5

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909377-97-5
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円+税



9784909377975



1928771012000

